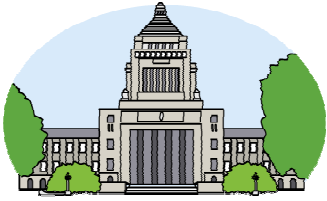


図書館だより

金沢市立朝日小学校図書館
平成26年(2014) 5月

5月3日は 何の日？

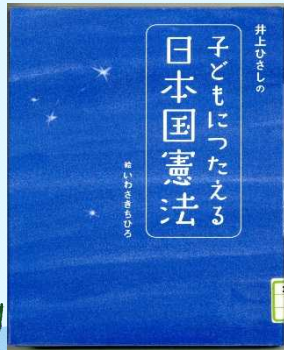


憲法記念日でした。最近 憲法が話題になっていますね。国のあり方を定める基本のルールである憲法は、法律の親分ってよく言われます。国のすべての法律のなかで最もだいじなものだからです。

国の力をしぼるのが憲法なら、法律は国民がしたがうルール。その憲法が施行されたのが1947年5月3日。

この機会に憲法の本を読んでみましょう。

中学年から読めますよ。



『井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法』(講談社)

第1章 (1~8条)

天皇

天皇は象徴、国と国民をまとめるシンボル。主権、さまざまな国のことを決める権利は、国民にある



国民主権

戦前は天皇に主権があったけど、今や国民が主役だ。最初に宣言しているのだ

第2章 (9条)

戦争の放棄

戦争をせず、戦力を持たない



平和主義

『戦争の放棄』だから成る最も短い章だぜ

第3章 (10~40条)

国民の権利及び義務



基本的人権の尊重

最も力を入れて書かれているだけじゃ、6~7でくわしく見てみるんやて

月刊『Newsがわかる』5月号(毎日新聞社)より

5月 おすすめの本

今月の読書テーマ: 時間 (とき)

何分何秒も時間ですが、1年 2年や21世紀、季節も時間を表しています。

算数がたのしくなるおはなし

桜井 進・著 (PHP)

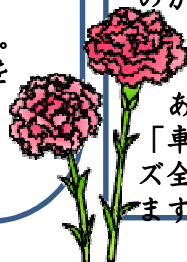


第3章 ワクワク☆数学者の物語『20年間も計算し続けた男』

「計算なんかきらいだ。計算なんて、めんどくさい。」そんなふうに思う人がいたら、ぜひ読んでくださいと著者は書いています。

今から400年前、その人は、ジョン・ネイピア。なぜ計算し続けたのか。それは多くの人の命をすくうためでした。

なんだか読んでみたくになりますね。3年生もじゅうぶん読めますよ。



車のいろは空のいろ 春のお客さん

あまんきみこ・作 (ポプラ社)

『車のいろ・・・』シリーズは、タクシー運転手松井さんとふしぎなお客さんとのふれあいをえがいた心あたまるファンタジー。

菜の花ばたけの近くのいずみようちえんまで乗せたお客さんは、若いお母さんと小さな男の子が5人。車をおりたお客さんを見おくっていた松井さんは、見てしまいました。

5人の男の子のズボンからこげ茶色のものがふわふわと出てきたのを。

朝日小学校にはあまんきみこさんの作品は、「車のいろ・・・」シリーズ全3巻をはじめ12さつあります。

